

第7回 日本静脈経腸栄養学会 九州支部学術集会  
 会期：2015年10月24日（土）  
 会場：JR HAKATA CITY JR九州ホール[9F]  
 当番世話人：貝原 淳（一般財団法人 医療・介護・教育研究財団 柳川病院 副院長）

9:30~9:35	開会の辞 当番世話人：貝原 淳（一般財団法人 医療・介護・教育研究財団 柳川病院 副院長）
9:35~10:25	教育セミナー1（50分） <b>静脈栄養とビタミンー日常診療に活かすために知識の整理をしようー</b> 石橋生哉（公立八女総合病院 外科部長） 司会：岩坂日出男（大分市医師会立アルメイダ病院 麻酔科部長）
10:25~11:15	教育セミナー2（50分） <b>臨床栄養における微量元素の重要性</b> 湧上 聖（宜野湾記念病院 院長） 司会：白尾一定（独立行政法人地域医療機能推進機構 宮崎江南病院 院長）
11:15~11:50	休憩（+世話人会：会議室1）（35分）
11:50~12:40	ランチオンセミナー（50分） <b>NST漢方から在宅漢方へ</b> 演者：八木 実（久留米大学医学部外科学講座小児外科部門 主任教授） 司会：貝原 淳（一般財団法人 医療・介護・教育研究財団 柳川病院 副院長） 共催：株式会社ツムラ
12:40~12:50	総会（10分）当番世話人：貝原 淳
12:50~13:30	一般演題1（8分×5題：40分） 座長：加治 建（鹿児島大学小児外科 准教授） 1 臍頭十二指腸切除術におけるSSI発生因子の解析ー肥満因子の関連性についてー 土居浩一、生田義明、林 洋光、尾崎宣之、高森啓史 済生会熊本病院外科 2 経皮内視鏡的胃瘻造設術後の院内死亡に関する因子の検討 仲池隆史、宮崎律子、神崎拓郎、川崎博文、中島俊哉、山口えみ子、岩田明美 唐津東松浦医師会医療センターNST 3 生体電気インピーダンス法によるPhase angleを用いた重症心身障害児（者）の栄養評価 吉田 索 <sup>1)</sup> 、浅桐公男 <sup>1)</sup> 、田中芳明 <sup>1) 2)</sup> 、橋詰直樹 <sup>1)</sup> 、中原啓智 <sup>1)</sup> 、小松崎尚子 <sup>1)</sup> 、升井大介 <sup>1)</sup> 、 七種伸行 <sup>1)</sup> 、石井信二 <sup>1)</sup> 、深堀 優 <sup>1)</sup> 、八木 実 <sup>1)</sup> 久留米大学医学部小児外科 <sup>1)</sup> 、久留米大学医学部医療安全管理部 <sup>2)</sup> 4 頭頸部がんで化学放射線療法を受ける患者への栄養管理の検討 阿部世史美 <sup>1)</sup> 、安部 幸 <sup>1)</sup> 、田邊美穂子 <sup>2)</sup> 、柴田智隆 <sup>3)</sup> 大分大学医学部附属病院看護部 <sup>1)</sup> 、大分大学医学部附属病院栄養管理室 <sup>2)</sup> 、大分大学医学部附属病院消化器外科 <sup>3)</sup> 5 いいごはんの日アンケート2013 九州と他地域の差 西田美千子 <sup>1)</sup> 、野田 武 <sup>2)</sup> 、長谷川正光 <sup>3)</sup> 、村田和弘 <sup>4)</sup> 八女リハビリ病院 <sup>1)</sup> 、大分協和病院 <sup>2)</sup> 、刈谷豊田総合病院高浜分院 <sup>3)</sup> 、山口県立総合医療センター <sup>4)</sup>
13:30~14:18	一般演題2（8分×6題：48分） 座長：霧 知光（雪の聖母会聖マリア病院 医師臨床・教育・研究本部 新専門医制度対策チーム 専攻医指導部長） 1 臍切除術後に脂肪肝を伴う低栄養をきたした2例 牛島圭太、桜美紗子、仲真美恵、平川千津子、松田知子、土居隆志、佐藤清治 佐賀県医療センター好生館NST 2 腸瘻の栄養管理から経口摂取移行 やわらか食で成功した例 野瀬留美子、安田洋子、鶴田 豊 医療法人社団鶴友会鶴田病院 3 喉頭気管分離術後に瘻孔を形成したALS患者に対し、NSTが介入し、瘻孔閉鎖に至った一症例 池田奈津子、広田博子、吉田さやか、池田佳子、仲宗根朝紀、高橋優二 社会医療法人春回会井上病院NST 4 地域連携の必要性を感じた一症例 鈴木光世 地方独立行政法人筑後市立病院NST委員会、八女筑後NST専門療法士会 5 地域連携を活かしたNST介入の一症例 松本瑛里 医療法人八女発心会姫野病院NST委員会、八女筑後NST専門療法士会 6 慢性肝疾患患者における乗り物運転とヨーグルト摂取の関連 杉本昌子 <sup>1)</sup> 、川口 巧 <sup>2)</sup> 、大津山樹理 <sup>1)</sup> 、緒方 奨 <sup>1)</sup> 、石井久美子 <sup>1)</sup> 、江崎菜穂 <sup>1)</sup> 、今永美波 <sup>1)</sup> 、末継拓郎 <sup>1)</sup> 、 谷口英太郎 <sup>2)</sup> 、居石哲也 <sup>2)</sup> 、永松あゆ <sup>3)</sup> 、岩崎昌子 <sup>4)</sup> 、後藤恵美子 <sup>1)</sup> 、鳥村拓司 <sup>2)</sup> 、三浦比呂子 <sup>1)</sup> 久留米大学病院看護部 <sup>1)</sup> 、久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門 <sup>2)</sup> 、久留米大学病院栄養治療部 <sup>3)</sup> 、 久留米大学病院栄養部 <sup>4)</sup>
14:18~14:30	休憩（12分）
14:30~15:20	教育セミナー3（50分） <b>明日から実践！静脈栄養療法の処方設計</b> 樋口則英（長崎みなとメディカルセンター市民病院 薬剤部長） 司会：佐藤清治（佐賀県医療センター好生館 がん統括診療部長）
15:20~16:20	特別講演（60分） <b>今、栄養管理に求められているもの</b> 井上善文（大阪大学国際医工情報センター栄養デバイス未来医工学共同研究部門 教授） 司会：貝原 淳（一般財団法人 医療・介護・教育研究財団 柳川病院 副院長）
16:20~16:25	閉会の辞 当番世話人：貝原 淳（一般財団法人 医療・介護・教育研究財団 柳川病院 副院長）

## 第7回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会 終了のご挨拶

平成27年10月23日(土)第7回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会をJR博多駅ビル内JR九州ホールにて開催いたしました。秋晴れの中、総勢616名にご参加頂き、盛大に開催できたことを大変嬉しく思います。職種の内訳は医師30名、薬剤師139名、栄養士194名、看護師198名、臨床検査技師22名、歯科医師2名、言語聴覚士14名、理学療法士6名、作業療法士4名、歯科衛生士4名、学生1名、その他2名でした。

今回の学術集会では栄養管理を行うために必要不可欠な静脈栄養を主題において教育講演および特別講演を企画しました。特別講演では大阪大学 国際医工情報センター栄養デバイス未来医工学共同研究部門教授 井上善文先生より「今、栄養管理に求められているもの」と題して栄養管理に関する知識レベルの向上、栄養管理の考え方などNST活動のあるべき姿についてご講演を頂きました。教育セミナーは3名の先生方にお越し、公立八女総合病院 外科部長 石橋生哉先生より「静脈栄養とビタミン 日常診療に活かすために知識を整理しよう」と題して各種ビタミンの周術期変化や文献をもとに解説して頂きました。宜野湾記念病院 院長 湧上 聖先生より「臨床栄養における微量元素の重要性」と題してZn、Cu、Se欠乏について自験例のデータをもとに解説して頂きました。長崎みなとメディカルセンター市民病院 薬剤部長 樋口則英先生より「明日から実践！静脈栄養法の処方設計」と題して水分、電化質バランスや静脈栄養の処方設計について解説して頂きました。それぞれ会員にとって有益なご講演でした。ランチョンセミナーでは久留米大学医学部外科学講座小児外科部門 主任教授 八木 実先生より「NST漢方から在宅漢方へ」と題して急性期病院から在宅においても漢方を取り入れることによる有用性について、ご家族の介護経験も交えてお話し頂き、栄養管理などに漢方薬を使用される頻度が増えることを確信しました。一般演題は11題の発表がなされ、それぞれの演題で活発な質疑応答や討論が行われました。

講師、演者、座長、参加者の皆様に改めまして心から御礼申し上げます。学術集会の準備、運営にご尽力を頂きました田中会長、支部会事務局の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。また、協賛を頂いた企業各社にも深く御礼申し上げます。

次回第8回は、大分市医師会立アルメイダ病院の岩坂日出男先生が担当されます。皆様のご参加をお願い致しますとともに、本学術集会が会員の皆様にとりまして栄養療法の質の向上と、お互いの情報交換の場として寄与され、益々発展いたしますよう心よりお祈りいたします。

第7回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会  
当番世話人 一般財団法人医療・介護・教育研究財団柳川病院 貝原 淳